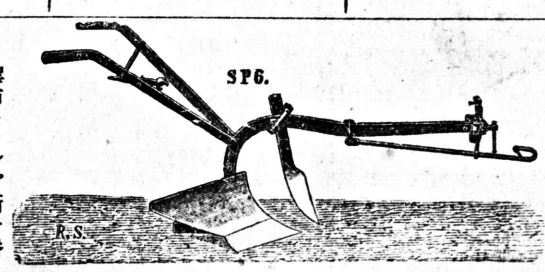

10 de Novembro de 1922 No. 266　Noticias do Brazil　大正十一年十一月十日　金曜日　第二百六十六號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ——— 15$000
„ Semestre ——— 8$000
„ Mez ——— 1$500
„ Semana ——— $500

動機本位の弊

倫理學上、行爲の原因となる心の狀態を表示する語に、動機と云ふがある、而して動機が善なれば結果も亦善であるとは、一般に信ぜられてゐることではあるが、動機と結果の間に時の距りがあるを普通とするから、其の經過の途中種々の問題が起つて、豫期の結果を收め得ないのみならず、動機と全く反對の惡結果を來す場合も珍らしくはない。

然らば一般に信ぜられてゐる善き動機は善き結果を生むの理論が誤りであるかと云ふに、敢へてさうでもないやうである、嚴格に云ふならば善き動機は必ず善き結果を生み出すものではあるが、もと〳〵動機と結果とは相對的なものであるから、假に動機を善としても、一旦結果に到達して其の結果が善でなかつたら、それだけ動機にも缺陷があるものと見做すを妥當とする。

故に動機の善不善を定むるには、始めに能く其の結果を推理考究して是れならば結果も亦善であると見極めがついた場合でなければ、動機を善と爲ることが可能ないのである、

然るに我國人は動機に偏る癖として意思の發動が自己の良心に反しさへしなければ、中途で脫線しやうが、衝突しやうが、顚覆しやうが總て構ひなしであるが、是れでは動機善說も當にならざること、當籤のやうなものではないか。

例へば我國の政治家などにした所で、人に主義主張を問はるれば、誠心誠意國事に奔走するとか、一死以て國の爲めに盡すとか答ふるも、是れ〳〵の意思を以て、是れ〳〵の事を行ひ、是れ〳〵の效果を擧げると組織的に言ひ切るものは皆無で、唯だ動機一點張りで猪突しやうとするから、到る處で鼻を突き、脚を失はづし、其の結果累を他に及ぼすのであるが、是れでは始めから其の動機に大缺陷のあること、智者を俟ずして知るべきだ。

又昨今リオ市の邦人中に起つてゐる紛紜にした所で、日本人同志會が練習艦隊に食糧品を供給すると云ふ最初の動機は、之を機會に金を儲けて會の爲のみにしやうと考へたのではなく、少なくも練習艦隊に對して比較的上等な品物を廉價で納めて、乘組將卒一同を歡ばせやうとしたのであらうが、それが種々な事情で豫期通りに行かず、爲めに內訌を惹起して除名處分だの、脫會だのと云ふ失態を演じつゝある所を見ると、之も動機に偏つて結果を推究するに氣がつかなかつた勢だと云ひ得る。

尤も日本人同志會の會則には、會の一番大切とする『目的』の一箇條が見へぬから、或は目的なしに『永遠に存續』すると云ふのであつたかも知れぬが、それは何方でも可いとして、兎に角公共的意味を有つ團體として、爲さずも可いことを爲したのが紛紜の起る因であつたことは、蔽ほべからざる事實であるから、同會が練習艦隊に對し、比較的上等な食糧品を廉價で供給して遣りたいと云ふのであつたなら、豫め艦隊側と了解を作つた上、會が監督の地位に立ち、正直にして責任を重んずる船舶食糧品賣込商に、之が納品を命ずれば宜かつたのである。

然るに同會は擧爰に出ずして、誤解の最も起易い商賣に關係し、公共團體と云ふ美名を騷して、會員中の船舶食糧品賣込商を壓へたる跡あるは、是れ動機本位に偏つた弊害で、吾人は同會の爲に甚だ悲まざるを得ないと同時に、一般に向つて結果を考量せざる動機本位の頗る危險なるものなるを警告せざるを得ぬ。

●高唱されつゝある聖州綿花問題（上）

此處に紹介するのはピラ、アメリカナのサルト、グランデ耕地の支配入で綿花栽培には權威として押される農業技師フランシスコ、フォルナサロ氏の當面の問題たる聖州棉花問題に就てエスタード紙へ發表した意見である

何故もつと多くサンパウロで、綿が生產されないだらうか？と云ふ問に對して、最良の回答をなし得るものは小農業者である。彼等の一人にかうした質問を發したら、彼等は言下に、玉蜀黍を植える方が數等割がいゝから、綿を植えないと答へるであらう。が之は全く事實その通りなのである、先づ一アルケルの土地に綿を植えるとすると、諸費用は約九百ミルレースを要する、そして平均生產量は百五十アロバスで、一アロバの價格を十ミルレースと見て、一コント五百ミルレースの收入、即ち利益は六百ミルレースである。所が同樣に働いて、ずつと少額の資本で、二アルケレスの土地に玉蜀黍を栽培し得られ、その生產量を百四十四袋と見積り、一袋十ミルレースで賣つて一コント四百四十ミルレースを得て利益は八百四十ミルレースを得られる、殊に玉蜀黍の栽培は、生產費が尠いのみでなく、勞力も少しで濟むのである、病蟲害や天候に依る被害も極めて輕少なのである。從つてそこに小農業者が玉蜀黍を擇ぶ、と云ふ理由がないだらうか？

之に對して玉蜀黍の栽培は、資本も僅かで危險も尠い、然しその代り市場に優越な地位を占むる綿が與へるやうな、巨利を博する事が出來ないと云ふものがある。然し農業者に向つて、世界の統計を示し、生產と消費の量の不均衡を說明してやつて見るがいゝ、彼は肩をゆすぶつて、『誰が値段を保證するだらうか？』と云ふに違ひない。之は今日まで我が農業者が、綿花相場の下落で、受けた手傷は少々ぢやないので、かう云ふのは無理がないのである。かくて目下の所、綿作增加の爲の、如何なる宣傳も、未だ何等の實效はあがらない茲に於てか目下の急務は、綿栽培の增加を阻碍して、現狀に陷らしめてゐる眞因を調査研究し、之を除却する事である。

此の原因は大別して二とする、即ち生產費の割高につく事と、品質の劣等な爲に、生產品の價格低落とである、で綿花問題の解決は要するに、生產費を低廉ならしめ、聖州綿花の品質改善、と云ふ二の結果を得る事によつて盡きるのである。吾人は先づ第一の問題から研究して見やう。

生產費を低廉ならしむる爲には、第一に栽培收穫量を增大ならしむる事が必要である、その爲には有能な專問家に指導さるゝ、試驗農場を設置する事が必要であり、其處で種子の問題を解決する爲に、必要な試驗研究をなし、或は種類の撰擇、或は之を風土に馴化させ、各地方及び各土に最適にして、最も多く產額のあるものを撰定するのである。かうした措置が如何に主要であるかは、次の一例に依つて明白であらう、それは撰擇された種子は、混種々子より三割多く生產量がある事である、之は現にサルト・グランデ耕地に於て、確證された所である、その外に撰擇した種子のものは、殆ど期を同うして一樣に生熟するので、收穫費をも廉ならしめる。

次には收穫減少の最大因の一たる、ラガルタ・ロザアダに對し、異攀な撲滅策を講ずるを急務とする、此の害蟲の爲の減收は、五割にも達する事がある、又ラガルタは著しく生產費を高め、生產品質をいためる、從つて價格を低價ならしめる、

大正十一年十一月卅一日 天長節祝賀會計報告

◇入金之部

金二、三九九、〇〇〇也	寄附金（八十九名分）
金　五五五、〇〇〇也	切符（一八五枚分）
金　一三八、八〇〇也	大正十年度祝賀會殘金
計金三、〇九二、八〇〇也	

◇支出之部

一〇一、三〇〇	祝電
四一七、四〇〇	裝飾費
六三四、八〇〇	運動會賞品代
一二〇、〇〇〇	樂隊
七〇、〇〇〇	會場及ボート借入
七〇、〇〇〇	公園入場料
三〇、〇〇〇	會場給仕支拂
四五、〇〇〇	小學校生徒會場迄ノ車代
二八七、四〇〇	ビール及サイダ公園店支拂
六二、〇〇〇	饅頭代村上店支拂
九三、〇〇〇	菓子代芳我店支拂
一六一、〇〇〇	餅代森山店支拂
一五四、八〇〇	辨當代上地店支拂
一六〇、二〇〇	同　中山店支拂
一七一、〇〇〇	同　小川店支拂
五六、〇〇〇	パスティス二宮店及上地店支拂
八六、二五〇	紙皿ナフキン及紙袋代
一五〇、〇〇〇	印刷料及廣告料時報社
七〇、〇〇〇	同　日伯社
七九、一〇〇	雜費馬車電車及雇人支拂
計金　三、〇一九、二五〇也	
差引殘金　七三、五五〇也	

聖市在留日本人
天長節祝賀會

大正十一年天長節祝賀會 寄附者芳名並に金額

一五〇、〇〇〇	藤田總領事殿
五〇、〇〇〇	春日副領事殿
同	江越信胤殿
三〇、〇〇〇	天滿書記生殿
同	山口書記生殿
同	嶺通譯生殿
同	齋藤通譯生殿
同	原口通譯生殿
一〇、〇〇〇	安部照彥殿
二〇、〇〇〇	關泰三殿
一〇〇、〇〇〇	藤崎商會殿
一〇、〇〇〇	楠木作右衛門殿
三〇、〇〇〇	鮫島直哉殿
一〇、〇〇〇	太田吉太郎殿
二〇、〇〇〇	管平吉殿
四〇、〇〇〇	杉本芳之助殿
	ガラジミカド
一〇、〇〇〇	上野友市殿
同	柴田一明殿
同	菅秀吉殿
同	青木梅雄殿
同	中本庄八殿
同	小川末吉殿
二〇、〇〇〇	龜井干男殿
一〇、〇〇〇	羽柴茂吉殿
四〇、〇〇〇	林岩松殿
一〇、〇〇〇	喜安稔殿
同	佐光政輝殿
五〇、〇〇〇	ガラジコングレッソ
	兒玉精達殿
	原村喜之助殿
	岡田一城殿
	栗田團太郎殿
一〇、〇〇〇	吉田政之進殿
同	中尾京之助殿
四〇、〇〇〇	伊藤恒三郎殿
二〇、〇〇〇	椎野豐殿
三〇、〇〇〇	上地彌藏殿
五〇、〇〇〇	時報社殿
三〇、〇〇〇	日伯社殿
同	石井寫眞師殿
同	高岡醫師殿
一〇、〇〇〇	杉山英雄殿
二〇〇、〇〇〇	海外興業株式會社殿
五〇、〇〇〇	青柳郁太郎殿
一〇、〇〇〇	明穗梅吉殿
同	渡邊孝殿
三〇、〇〇〇	山田揚之助殿
一〇、〇〇〇	岡本秀之助殿
二、〇〇〇	無名氏
二、〇〇〇	松下正彥殿
三〇〇、〇〇〇	日本倶樂部殿
一〇、〇〇〇	西鄕隆治殿
八〇、〇〇〇	日本貿易株式會社殿
一〇、〇〇〇	竹本武雄殿
二〇、〇〇〇	笹田正數殿
二〇、〇〇〇	岸本次男殿
一〇、〇〇〇	石橋恒四郎殿
三〇、〇〇〇	ミカド倶樂部殿
一五、〇〇〇	齋藤時計店殿
三〇、〇〇〇	山田隆次殿
一〇、〇〇〇	村上銀市殿
同	近澤幸吉殿
五、〇〇〇	森山彌會次殿
二〇、〇〇〇	長谷川殿
三〇、〇〇〇	中山旅館殿
五〇、〇〇〇	海老塚四郎兵衛殿
一〇、〇〇〇	芳我德太郎殿
同	梅田久吉殿
同	石村洗濯所殿
同	木藤商會殿
同	西村房吉殿
同	下末德之助殿
同	木村清八殿
五、〇〇〇	小下仁藏殿
同	米田龜太郎殿
三〇、〇〇〇	中矢熊太郎殿
一〇、〇〇〇	横溝洗濯所殿
同	二木理髮店殿
同	松永千代子殿
三〇、〇〇〇	小川旅館殿
五、〇〇〇	上利山三郎殿
一〇、〇〇〇	蔭本庄吉殿
五、〇〇〇	後藤廉吾殿
三〇、〇〇〇	瀨木商店殿
同	野口喜平次殿
同	東京館殿
二〇、〇〇〇	矢部洋服店殿
一〇、〇〇〇	松崎山民殿
二〇、〇〇〇	金城山戶殿
五、〇〇〇	畑山繁松殿

▼東西南北▼

◆米國の今度の總選擧では今迄判明した所では到る處民主黨の大勝で、ハーヂング現政府の勢力は著しく脅威を受けた譯だ恰度一九二〇年の時の共和黨が大勝を博したのと同樣な形勢にあると云ふ其と共に酒類禁止法反對黨の勢が素晴らしく麥酒や度の弱い葡萄酒の釀造販賣使用許可を標榜して選擧民を煽り奇功を奏した者が數多いニュジアセイの新上院議員エドワード氏は最も猛烈な禁酒法反對者で既に有名である只一つ現大統領ハーデング氏の州なるオハイオ州だけは否禁酒法派の旗色が思はしくないと云ふ紐育州の如き候補者の多くは否禁酒法派だそして現行禁酒法を物にした當の發頭人アンドリュウボルステッド氏はミ子ソタ州から打つて出て見事落選したのは皮肉又婦人候補者も全部落選

◆大統領ハーデング氏もオハイオ州の選擧人だが夫人の病氣の爲めか けられず米國有史以來の破格の例で白亞館で投票する事になり又投票模樣を知る爲同館に特別電話を設けた

◆英前首相ロイドジョウジ氏ニュウカッスルで土耳其の狀勢に關し演說し近東に於て何事が起らうとも吾人は旗を捲かねばならぬと大に力む

◆佛國前解放地方大臣下院に於て米國から催促された借金二十六億弗を返濟し同樣に獨逸からの賠償金を受取らなければならないと高唱した

◆土耳其國民黨は聯合國の軍艦ダーダネルス海峽通過の節は一々許可を受け國民黨旗に禮砲を發すべきを通告し聯合國は何と小癪なと挑む管理鐵道も其儘

◆問題の舊獨帝の結婚式は去五日正午に擧行され舊帝は結婚登錄簿にウィルヘルム二世と署名した式は極めて秘密裡に警察は大警戒につとめた

◆紐育へ近く南米印甸人文化程度を示す博物館が出來陳列品は百萬點以上に上る筈で南半球人種の研究に資すのだ

◆本場のサンパウロに珈琲不純正品が續々發見され既に衛生局の活動に依り押收燒棄されたる數多くサントスでも十噸餘押收された

◇外電一束◇

◇土帝の末路

アンゴラの國民會議は土帝廢位オツトマン帝政廢止を宣した(巴里電報)廢帝となつたマハメト六世は六日逃走を企て市民に捕へられた(コンスタンチノーブル電報)印度回教徒は土帝廢位に反對其他ベンガル埃及等でも回教徒を蹂躙するものとして大反對である(倫敦電報)

◇米國海軍教官團

五日華府で伯國大使と國務卿との間に海軍教官團招聘につき兩國政府の契約書に調印したその內容は期間を四年とするが伸縮するを得人員は十六名の將校及び十九名の下士から成り造船、ドツク、航空、潛航、水雷衞生其他海軍全般に關して指導する當團は九日紐育發ムンソン社船で渡伯準備がなつた(華府電報)

◇米國總選擧

七日全國に亘り知事及び上下兩院議員の改選が行はれ今迄に判明の二十五州に於ける結果は下院議員の部で共和黨一八五に對し民主黨一八七社會黨一、上院の方では民主黨一九對共和黨一四である、又紐育州知事にはスミス氏が當選した(紐育電報)

◇英國新議會

英國の新議會は來る二十三日に開院式が催される(倫敦電報)

◇獨逸露國へ武器製造

勞農政府は商議の結果は愈々獨逸クルツプ社へプチロフ工廠を任かせる事にしたので獨逸技師は直ちにその任務につき過激軍の爲に兵器製造に着手した(倫敦電報)

◇伊首相と移民問題

新首相ムソリニ氏は最近南米へ歷訪して歸つたヘンリケ・カピリア將軍を引見し南米に於ける伊國移民の狀態に就聽取(羅馬電報)

◇馬克益々下落

伯林市場七日の引相場は一磅に對し三萬五千馬克となつた(伯林電報)

◇經濟欄◇

●伯國煙草工業

伯國の煙草工業は、その歷史も可なりに古いが發達の勢も著しいものがある、殊にその品質の點で世界到る處に歡迎される、先づ十年以前に遡つて、一九一二年に於ける煙草工業は次の狀勢にあつた

一九一二年大小工場數	一、二五一
資本金	二〇、〇〇〇コント
職工數	一五、二九八
動力馬力數	九九四馬力

次に一九二〇年に於ては全國總工場數は一千三百七十を數へ、一九二一年には一千四百五十四資本額四萬コントスとなつた、內譯は

工場別	一九二〇年	一九二一年
動力使用又は職工十二人以上	一二四	一一三
職工六人以上十二人以下	五九	六三
職工六人以下	一、一八七	一、二七八
計	一、三七〇	一、四五四

而して一九一八年及一九一九年の生產狀況は

	一九一八年	一九一九年
葉卷	九七、〇三六、三三六本	一三三、二六八、八八七本
紙卷	三七、〇九三、二三五包	二六一、四五一、三六七包
嗅き煙草	二、五四二キロ	六、九六四キロ
刻其他	一、〇〇四、七五〇	六六六、九二〇

又一九一九年の煙草工業生產額は

製造額	一〇一、八七五、〇〇〇ミル
輸入額	七、三四二、〇〇〇
消費額	一〇九、二一七、七五一
生產消費の割合	九三、三%

煙草の消費稅收入額は

年次	
一九一〇	七、一〇五、五九七、一三五ミル
一九一五	八、九五五、七五一、七九一
一九二〇	三三、七一七、二四四、八九〇

伯國煙草の外國へ輸出額は

年次	數量 噸	價格 コント	一キロ平均額 レース
一九一一	一八、四八九	一四、三三五	七六六
一九一五	二七、〇九六	三三、六六五	八六五
一九二〇	三〇、五六二	三九、一八六	一、二八二
一九二一	三三、一六一	五三、九六五	一、六四五
最近二年平均	三一、三六一	四六、〇五五	一、四六八

一九二一年に於ける輸出港別は

港名	數量 キロ	價格 ミル
ベレン	三、一一三	一八、三四〇
レシイフエ	七四八	一、三五〇
パイヤ	二七、七四九、五五一	四六、四九四、八二五
リオ	一、二六一、〇二八	二、三三〇、六二三
サントス	一六、〇七三	二八、七七八
サンフランシスコ	三三三、〇四五	一八九、九四七
イタジヤイ	一、三三六	八九三
リオグランデ	二、八六五、〇五五	三、八三九、二七五
其他	三一、九三〇	三一、三六〇

尙一九一三年及一九二一年の輸出仕向國別は

國別	一九一三年 數量 噸	一九一三年 價格 コント	一九二一年 數量 噸	一九二一年 價格 コント
獨逸	二四、〇二九	二〇、三八二	九、〇三六	一五、〇二八
亞爾然丁	四、三六〇	三、七〇〇	三、三四一	五、三六六
烏爾圭	五九九	二九二	一、九二四	二、七一三
英國	三九	六四	三三四	九二一
葡萄牙	八二	七六	五	三三
佛蘭西	二	—	五、五九〇	九、四四六
和蘭	二	—	五、二〇五	九、三六三
白耳義	二	—	二、八〇〇	四、〇三三
伊太利	—	—	二、六五一	四、四二一
瑞典	—	—	七九八	一、三〇五

●砂糖輸出レコード

昨年の砂糖輸出は比較的多量で、十二ケ月間に十七萬二千九十三噸、價額九萬四千百六十八コントスに達した、而して本年は一月乃至八月間に於て、既に十三萬九千八百噸を突破し、價額は五萬五千四百六十三コントスに上り、實に新レコードを示してゐる、今最近數年同期間の輸出と對比すれば

年次	數量 噸	伯貨額 コント	英貨額 千磅
一九一三	五、一五〇	九二六	六三
一九一九	二六、三〇三	一八、九七〇	一、〇六七
一九二〇	五三、〇六九	五六、三三三	三、七七三
一九二一	九三、六一七	六〇、三五五	二、一八二
一九二二	一三九、八〇〇	五五、四六三	一、七四一

然し本年に於て價格は著しく低下し平均噸當三百九十七ミルである、之に對し昨年は六百五十二ミル、一昨年は一コント八十ミル、一九一九年には七百二十一ミル、戰前一九一三年に於ては僅に百八十ミルレースに過ぎなかつた

●ソロカバナ鐵道現況

ソロカバナ鐵道は最近、聖市からマツトグロツソの國境、パラナ河の沿岸まで九百三基米突の、プレシデンテ・エピタシオ驛まで〻その線路を延長した、之に依つてマツトグロツソ州南部地方の生產品の、サンパウロへ搬出されることが極めて容易になつた、殊に廣大な該州唯一の生產物たる家畜の輸送の如き七割方を增加した、即ち本年上半期間には、毎月平均三萬頭を輸送してゐたのが、六月以降九月には五萬二千頭となつた本十一月に三百臺の、動物輸送用特別貨車が同鐵道へ到着する筈で、この到着と共に家畜輸送數は更に增加するものと見るを得られる、何となれば現存同鐵道の貨車は、その最大限の輸送能力を發揮してゐるからである、一方ソロカバナでは豐富極まる森林を開拓し、製材をなし既に積込を終へたるものは二百貨車に達してゐる、同鐵道では木材輸送力をも增大せんとしてゐる、本年中だけで聖州は鐵道發展の爲に、既に十强力機關車、二百臺の無蓋貨車、三百臺の格子覆貨車、七十基米突の重量軌條を購入し、チバヂイ支線二十基米突の線路を、重量列車の運轉出來るやうに、取替濟だと云ふ

●パラナ州 知つた振(三)

帆影

◆官、私有地(承前) 鐵道沿線や各都市の附近、それもクリチバ市に近い地方の地價は、最近十年間に非常な高騰を示してゐる一九〇八年頃には、一ヘクタール(日本の約一町廿五歩)十ミル乃至十二ミルで賣買されたものが、今日では平均三十乃至四十ミルレースである。クリチバ市附近、カンボラルゴ、アラウカリア、サンジヨゼドスピニヤエス、其の他クリチバに近い郡內では、先づ一ヘクタール八十乃至二百ミルレースと云ふのが、平均相場である。殊にクリチバ市近郊のポルトン、サンタ・フエリシダーデ、カンポ・コンプリード、アルジエリイナ等では一アルケール(約二ヘクタール餘)五百ミル乃至一コント以上では手放すものがない。さうかと思ふと時にはクリチバから汽車で一時間ほどの、ピラクアラ町附近で墓地の前だから、と云ふのと主人が死んだので、四アルケーレスの土地が二百ミルで賣物に出たり、二アルケレスの土地が木造家屋付で六百ミルで買手をさがしてゐると云ふ最近の事實がある。又汽車も何も通じてゐず、クリチバから漸く車道が通じてゐるだけの、距離は約五十キロ、馬車で一日行程とされてゐるマンヂレツツウバ邊でも、アルケルは五百ミル內外である、一體にマテ樹やパラナ松のある地方は値がいゝ。牧場地や、地味はいゝが交通の不便な、グアラプアバ、パルマス、クレベランデイア郡では、現今地價ヘクタール約四十ミルである。北部地方で珈琲栽培に適した地方は、鐵道への遠近を斟酌してヘクタール五十乃至百ミルを唱へてゐる、クリチバから最も遠い地方で、道と云つても馬が歩き得るほどのものがあるだけの土地は、先づ十乃至二十ミルレース(一ヘクタール)である。海岸地方は十ミル乃至十五ミルで賣買されてゐたのが、近頃アントニイナ郡內に日本人が入り出してから、百ミルの聲をきいても手放さないほど氣が强くなつた、然し此の海岸地方の土地を、百ミル以上出して買うのは、恐らく日本人だけらしい。

先づ一農家が當州へ在住したいとして、十アルケーレス即ち二十五ヘクタールスの私有地を、鐵道又は大都市附近で求めやうとしたら、一ヘクタールに付四十乃至八十ミル、即ち總計一コント乃至二コント以下では求められまい。之等の地價は約二年以前の調査なので、今日では更に上騰してゐると思はねばならない。

謹啓各位益々御清祥奉賀上候陳ば小生儀今般母國に用件相生じ來る廿八日サントス出帆の『カナダ丸』にて單身一時歸國可仕候に就ては出發に際し一々拜趨御暇乞可仕候と共に御鄕里への御傳言等相受け度候得共期日切迫其意を果さず乍略儀以紙上右申上候間御鄕里へ用件有之候御方は本月廿五日まで聖市上地旅館方小生宛御申越被下度尙は歸植は來年五月下旬の豫定に有之候先は御暇乞旁々御用御伺ひまで如此に御座候 敬具

十一月一日

現在地イグアペ植民地
原籍福岡縣浮羽郡
栗田平市

辱知諸賢

●物價表(昨日)

棉花上(エンラーマ)	一アローバ	—
同(エンカロツソ)	一アローバ	—
米(特等)	六〇キロ	—
同(最上)	六〇キロ	三六、〇〇〇
同(上等)	六〇キロ	三三、〇〇〇
同(並等)	六〇キロ	三〇、〇〇〇
モミ(特等)	六〇キロ	—
同(最上)	六〇キロ	—
同(上等)	六〇キロ	二一、五〇〇
砂糖(特等)	六〇キロ	五四、〇〇〇
同(マスカボ)	六〇キロ	二四、〇〇〇
豚脂(聖州產)	六〇キロ	一一五、〇〇〇
同(南リオ州產)	六〇キロ	一一九、〇〇〇
マンヂオカ粉	五〇キロ	二一、〇〇〇
メリケン粉(亞國產)	四四キロ	三六、〇〇〇
同(內國產)	四四キロ	三六、〇〇〇
豆(ムラチニオ、セツカ)上	六〇キロ	一二、〇〇〇
同(中)	六〇キロ	—
豆(ムラチニオ、アグア)上	六〇キロ	—
同(中)	六〇キロ	—
豆(ブランコ)	六〇キロ	—
ミリヨ(アマレリニオ)	六〇キロ	一二、六〇〇
同(アマレロ)	六〇キロ	一二、二〇〇
同(アマレロン)	六〇キロ	一二、二〇〇

珈琲園コロノ募集

イラペエ及びチンブリイ町に近いソロカバナ線のシヤバンテス及びイパウツスウ兩停車塲から二レグアの距離にあるコンセイソン耕地は、土地は高燥で至つて健康地、地味は豐沃、水は好く、熱病も目病もなく、而も大部分は生產力に富んだ新珈琲樹で、住家は瓦葺で、立派な耕地なり。今期收穫が終つたら新手入の爲に善良な家族の就働申込に應じる。豆や玉蜀黍を植ゑ得られる、新珈琲樹一千本と、豆を耕作出來るフォルマードの珈琲樹一千本と、四分の一以上の土地に耕作の出來る三千本とを與へ一千本の手入賃二百ミルレース、百二十リツトル入一袋摘取賃一ミル四百レース、日給四ミルレースを拂ひ支拂は每月現金を以てし、シヤバンテス、イラペエ又はチンブリイ等への買物の爲には、耕地から無料運搬する。耕地內にはフバ製造工塲がある、牛馬山羊豚等を飼育し得る牧塲もある。家長にして耕地視察希望者には無料乘車劵を給與する。

希望者は耕地に於ては支配人 **Duval de Moraes Aguiar** 同氏への手紙は Timbury へ又聖市に於ては Rua Direita, No. 7 Sala, 32 の **Alves Lima** 氏へ照會されたし Chavantes の Hotel Grillo で案內も運搬も取扱ふ。

◇廣告◇

左記諸君の現住所御一報得度候

吉田由次郎　野中重助　五島菊市
河村末太郎　島田數惠　竹田森次郎
中牟田榮太郎　田の上熊五郎　大河內増太郎
鈴木勇　春成藤吉

◆當社貸付者にして最近他轉し未だ屆出なき諸君はその耕地殖民地名、線名等を詳記し御一報被下度候

大正十一年十一月

海外興業株式會社伯國支店
Caixa Postal, 1082　S. Paulo

宗教論壇

●屍の前に立ちて

小林美登利

明日ありと思ふ心の仇櫻
夜半に嵐の吹かぬものかは

何と云ふ強い魅力を以て我等の無常感をそゝる一句でせう！今紅顔の美少年朝に笑ひさゞめくかと思へば夕には早や白骨となつて、我等の面前に横はる事が少くありません。釋尊出家の一大動機は、抑も斯る人生に於ける一面の眞理を、最も痛烈深刻に感じた處にありますが、如何に鈍感な凡夫と雖も、ツイ先まで互に温情を交はし合ふた者が、今目前に冷かな屍となつて横はるのを見る時に、誰か其處に大なる驚きと深い疑問とを起さずに居られるでせうか？去十月卅一日の未明、當市マタラゾ病院に於ける石井氏夫人の急死は何んなに私共を驚かしめた事でせう！私が石井寫眞館を訪れたのは、ほんの數日前の事であつて、其時同夫人は作業中の手を暫し休めて、戸口迄私を迎へられ、溢れる計りの笑を浮べて、私の顔をじつと見つめられましたが、それが亦何の示し合せか、私は今其屍の前に立つて告別の弔辭を捧げる事となつたのであります。一夜の中に幽冥界を異にする死と云ふ一大事實に際會する毎に、我等は人生に對する嚴肅な反省を呼起さずには居られません。我等の生命が肉體の息を引き取ると共に終を告げるものであらうか？靈魂の不滅と云ふ樣な事が果して信じ得られるや否や？永遠の生命と云ふ事は一體どうして説明がつくだらうか？此んな事を我等の理智の對象として取扱つて居る間は、我等は只懐疑と憶測と獨斷とに陥る外に道がありませんが、然し一度之を我等の生命の眞要求から出發して考へて見ますと、有限な地上の生活の中に常に無限に憧れて居る我等の靈魂が、肉體の死と共に亡び去るとはどうしても考へ得られる處ではありません。昨日迄共に語り共に笑ひ互に温い交をかはして居つた者が、今冷い屍となつて我等の前に横はる時、誰か其中に生きて働いて居つた心靈の行方を訪ね求めないものがあるでせうか？時代は移り思想は變遷し、科學萬能主義も漸く其土臺がグラ付き始めて、さしもに一世を驚かしたダルウィンの物質進化論も、今や生命中心の進化論に席を讓らねばならぬ事となり、アインスタインが一度相對性原理を説き出すや、ニウトンの引力説は其根底より覆されんとして居ります。名説卓論は次から次へと新奇を追ふて其止まる處を知りませんが、然し人生深奥の生命欲は永遠より永遠に亘つて不變であつて、然かも死と云ふ帳の一歩彼方は何者と雖も之を窺ふ事の出來ない運命の許に置かれてあります。之を窺ひ知る事が出來ないが故に、我等は未來に對して一層嚴肅な思と恐怖をさへ感ずるものであります。基督が『今夜汝の靈魂取らるゝ事あるべし、然らば汝の財産は誰が有になるや』と申されましたが、死の彼方へは身に付ける一物と雖も持ち行く事が出來ず、日夜に惜しむ婦人の容色さへ青白く閉された屍となつて殘されるのであります。

私は今屍を前にしつゝ、死と云ふ人生の最大問題を解かんとして解く能はず只管に基督の足下に跪いて、そが示す永遠の生命へ導かれん事を祈る次第であります。（アラサ墓地の感）

●向上渦まざる
サンパウロ市

最近發表された聖市長フィルミアノピント氏の、昨年度に關する聖市勢報告は頗る興味がある、それに依れば如何にサンパウロの膨脹が、津々として休むなく進みつゝあるかを知る事が出來る、その一班を紹介すれば、先づ

▲市の財政で昨年度收入豫算は一萬六千七百三十二コントス六百ミルレースだつたに對して、一萬九千三百九十四コントス百四十一ミル七百九十五レースと云ふ增收だつたが、支出も豫算を超過して二萬四百六十コントス百六十八ミル十九レースに起した、之は爲替差額が非常な原因をなしてゐる市債額は昨年末で

▲六萬八千五百六十一コントス八百四十七ミル百七十レースである。一八七二年には三萬一千三百八十五名の人口だつたのが、一九〇〇年には二十三萬九千八百二十名となり、一九二〇年には五十七萬九千三十三人となつた、區分けをして最も人口の多い地方は、モッカの六萬七千八百ブラスの六萬六千八百人、次いでサンタシ、リア、コンソラッソン

▲ベレンヂイニヨ、ベレビスタ、エフヒジエニア、リベルダーデ、サンタアンナ、ボンレチロ、ピラマリアンナ等の順である、家屋總數は六萬三千百六十六戸で、一九二一年中に建築家屋二千百十二戸、その中五百六十戸は二階建以上である、工場數は一千五百四で、資本金約三十一萬コントス、從業職工五萬五百、生産平均五十萬八千二百コントス

▲市の面積は八百九十七平方基米突で、九百三十四アルケーレスの栽培地と、千九百九十三アルケーレスの林とがある、車道の延長は三百八十五基米突ある、昨年中電車の運搬乘客數は九千七百二十九萬二千九百二十三人で、昨年は八千四百四十一萬四千五百六十六人であつた、一日の平均乘客は二十六萬六千五百五十五人である

▲電話加入者は、昨年一月一日現在一萬七千七百六十五で、一九二〇年のそれに比し二千四十八の增加である

●歐洲財界近況

九月の佛國諸新聞は、佛蘭西銀行が英蘭銀行に對し、その債務の償却を始めた事を報じた、戰時中に空になつた金庫へ、黄金が舞ひ戻り初めたのである。一九一六年時代に於て、英蘭銀行は佛蘭西銀行に對し、七千二百萬磅を貸付け、それに對し佛蘭西銀行は、二千四百萬磅の金を英蘭銀行へ送致した。一九一九年の初期に、初めて七百萬磅の償還をした、そして金を二百三十三萬四千磅だけ返して貰つた、從つて債務は六千五百萬、金の預託は二千百六十六萬六千磅となつた、最近の償還は四百萬そして金の返却は百三十三萬三千磅であつた、此の償還は一體一年間内に皆濟さるべきで、同時に二千萬磅の金、即ち五億法の金が、佛國へ返つて來る筈である。

英蘭銀行の現在所有金は一億二千八百萬磅で、北米へ對する利子を、規則的に支拂つて行くには、現在所有金の約六分の一を回收しなければならない、おまけに發行紙幣の保證準備が要るので、愈々割引率の引下は六づかし相だ。他方英國は戰時中及び平和初年間中絶してゐた割賦償却やら、利子やらを受取る。

佛蘭西銀行では、最近爲替が大下落したので、その金庫に金の增加を計らねばならない、又外國で買付けた原料品や、穀類の支拂にも、新手形を振出さねばならなかつた獨逸の賠償問題は、依然として行詰つてゐる獨逸と白耳義との間にはその支拂に就て妥協が成立した、國民銀行は英蘭銀行で裏書した、六ケ月拂の手形を發行する、佛國はまだ賠償の分け前を受取らない、佛國政府が今日迄復舊工事に支出した、九百億法の金は内債に依つて得たのである。

國民銀行即ち獨逸帝國銀行は、每週七十億馬克の紙幣を發行してゐる、流通總額は約二千五百億で、所有正金は依然十億である、佛國國民派の新聞は、無理矢理に國政破端に至らしめんとする、獨逸首腦者を攻擊するが、馬克價の下落は、獨逸の活動を阻碍する事、亦甚しいものがある即ち製造工業界は、原料を海外からの輸入に仰がねばならない、所でその原料を豊富に得やうと云ふ事は、爲替大不順の爲に至難である

●空中の征服者伯人
サントス・ヅモン氏（一）

空中飛行船及び飛行機の發明者として、空中征服者の偉名を賞えられ、近くは佛國サン・クロウに記念碑を建てられたサントス・ヅモン氏は、伯國人として伯國の誇である、氏が最近巴里へ行つた時に、氏が空中を征服する迄の經路を、同地の『ジュ、セエ、トウ』誌に次のやうに語つた

『最初は原理に對し戰ふばかりでなく、僻見臆說とも鬪はねばならなかつた即ち氣球の操縦、空氣より重いもので飛ぶ、と云ふことは不可解の問題として考へられてゐたのである余の空中飛行の最初の教師は、大空想家のジュリオベルヌであつた。

余が初めての歐洲旅行、即ち一八八八年から一八九一年迄、空中飛行や潜航艇等を考へ出した、此の有名な大豫言者の著書を讀み耽つたものだまだうら若い青年時代から、もうかうした小説家の空想は、蒸氣力でない動力機を用ゐて、必ず實現さるべきものだと思ひ込んでしまつてゐた然しその時分余は動力機と云へば、英國から輸入されて、珈琲運搬の爲に貨車を輓く牽引車や、其他の農業器械より外には知らなかつたのである。

余は父に連れられて、佛蘭西へ渡りそして巴里へ遊んだ、故國のブラジルへ歸る前日に、父と一緒に工業館を參觀し、其處で種々な機械の陳列してあるのを見た。此處で一番驚いたのは、重さは非常に輕い、そして力は僅かに一馬力の、石油發動機を初めて見た事である。一年後大努力の後再び巴里へ遊ぶ事が叶ひ、自由氣球の乘客として氣球へ乘り、その當時は極めて稀だつたある氣球工場へ出かけて、百立方米突の氣球を注文した。その時分誰も彼も余を目して氣狂ひだとした、然し數ケ月後シヤボン玉のやうな我が氣球、ブラジル號は巴里を横斷し、全世界を驚嘆せしめた、その氣球は僅かに直徑六米突に過ぎなかつた、そしてその百十三平方米突は絹で、三キロ半の重量を有し、それにペルニスを引いて繩や綱共に十四キロ、樽が六キロ、錨が三キロ、百米突の命綱が八キロであつた、余の計算は的中して、その上に一砂袋をバラストとして積んで飛揚する事が出來た。

◆日本人に對する法律事件の相談
辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所　總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
L. da Sé, 3, 3°. andar Sala, 14 S. Paulo

FUJISAKI & COMP.
日本品各種
藤崎商會
東京本店　赤坂區溜池町卅三
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　ペルナンブーコ
サン、パウロ支店
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

聖波羅土地材木殖民會社
◆當社は水質良好、氣候温和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絶好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり
◆尚詳細は左記宛御照會ありたし
ビリグイ代理人　宮崎八郎
Est. Birigui　L. NOROESTE

日本貿易株式會社
リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro
聖市出張所
Rua Quintino Bocayuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo

◇新荷着御案內◇
◇食料品（數の子、土佐鰹節、削節、淺草苔、干瓢、干天、蒟蒻粉、椎茸、晒若目、昆布、福神漬、日本橋漬、蛤味付、筍子、苔味付、干蓮根、サザエ、食用紅、モチ米、アヅキ）
◇化粧品（御園白粉、クラブ白粉、クリーム、パール、口紅、ミツワ石鹼、花王石鹼、金鶴石鹼、アルボース、齒磨粉其他）
◇小間物（ツゲトキ櫛、ビン櫛、スキ櫛、石入サシ櫛、石入ット止メ、ガランボ、カモジ毛、タボ其他）
◇書籍（講談、喜劇、悲劇、活劇、各小說類五百藝題、修養書、現代日用文、流行歌集、浪花節、小學讀本卷の一より終迄）
◇金物雜貨（稻刈鎌各種、鉋丁、大工用ヤスリ、理髮道具一切、花カルタ、線香、齒磨ヨージ、卷皮財布、其他）
◇日本野菜種子一切
◇中將湯實母散新藥澤山
直輸入商　中矢商店
K. NAKAYA　Rua Conde de Sarzedas, 69 S. PAULO

●大阪毎日新聞に發表された難波生の『南米の寶庫』を讀みて（上）

植民地海興社員　天籟生

百聞は一見に如かずとは能く人の用ゐる言葉で又一面の眞理を含んでゐるが、只見さへすれば聞くの必要なしと速斷すると其處に過が生ずる。否、聞いても其の聞方に當を得なかつたり、見ても其の見方に確乎たる豫備智識がなかつたりすると、折角見聞した事も横道に逸れて、トンダ結果を惹起す事がある。

▲丁度今から五ヶ月程前に當地の視察を切上げて歸國の途に就かれた、大連の遼東新報主筆難波勝治氏は性質至つて眞面目な人で在る丈に、視る事も可なり深く見られたし聞く事も可なり博く聞かれたと思ふが、其の見聞たるや豫備智識が案外貧弱だつた爲めか、氏の通信として『大阪毎日新聞』に表はれた『南米の寶庫』なる題下の記事は、吾々の期待を裏切つた隨分つまらぬもので大に失望せざるを得なかつた、併し氏は歸國後書を送り『移植民の伯國發展の爲め是から大に伯國宣傳を爲す積りだ』と言つて居らるるから、氏の書かれた『南米の寶庫』と云ふ通信も無論善意から伯國の眞相を故國に傳へやうとしての執筆だつたと思ふが如何に善意としても眞面目としても事實間違つてゐる事は之を糺すの其の道に忠なるものだと思ふから、余は左に其の主なる點を辯駁して氏の考への誤りたりしを明かにする事にする。

▲難波氏の『南米の寶庫』と題する通信記事中に『勞資の爭議が行はれて會社に對する不平の聲も高い』と頗る仰山らしく書いてゐるが、勞資爭議と名の付く問題は幸か不幸か伯國には未だ耳にした事がない。殊に自分の土地を自分で耕し人手を用ゐぬイグアペ植民地で、現在は勿論過去に於ても勞資爭議などは聞いた事がなく、又近き將來に起きさうにもない。尤も五百家族二千五百餘名の植民中には蔭で會社に對し不平を言ふ者がない譯ではない、例へば病氣の時醫師が直ちに來てくれぬとか、會社が希望通り金を貸してくれぬとか、年一割の利息を六分に負けてくれぬとか、借金返濟の期限に際し之を其の取分中から差引いたとか云ふやうな苦情は吾々も時に耳にする所ではあるが、之は概して自分勝手な申分で毫も根據のない事であるから機會があつて其の無理を說き聞かさば當人は忽ち納得する、多人數寄れば所何に於ても多少の不平や面倒は普通有勝で殊に植民地の事情に馴れない連中や事毎に愚痴をこぼさねば濟し得ぬ癖のある日本人社會には不平泣事は到底免かれ能はざる事であるから、是等の陰口不平を耳にして是れ會社に對する勞働問題即ち勞資の爭議と斷ずるは、恰も火を見て忽ち火事と速了すると同樣輕卒も亦甚だしと云ふべきである。

▲又氏の論ずる『衛生設備、教育機關の不備』に就ては其の制度の進んだ文明國と比較すれば御說一應御尤もであるが、先づ第一にイグアペ植民地は農村の樹立を唯一の目的とする私營事業であつて、氏の常に口にする滿洲の如く日本の政治的勢力發展の爲め入費お構ひなしの國家事業とは大に其の事情を異にするから、滿洲に馴れた眼でイグアペの其れは不備不完全だとは比較の取方が已に公平を失してゐる。それでも伯國に於ける同じ種類の植民地――公營、私營を問はず――中では、イグアペ植民地は衛生施設に於て最も行屆けるものゝ一つである。則ち經營者の費用を以て醫師を植民地に常置し、醫藥を實費で給與するもの他に何處にありやで、伯國植民地の模範とせらるゝ、サンタ・カタリナ州の獨逸人植民地に於てさへ未だ此の便利がないのみならず、聯邦又は州政府の直營たる植民地に於ても猶未だ斯の如き便法が其の總てに行亘つて居らぬのであるから、公平に比較を伯國內で取るならば、イグアペ植民地に於ける衛生設備は最も完備せるものと云ひ得べく、植民の衛生狀態は又每年發表せらるゝ衛生報告に依り良好なりと證明され得るのである。氏は或は完備せる病院を有さざるを非難さるゝのかも知れぬが、僅か五百戶の農村に左樣な大設備を期待するは抑も無理な注文と云はざるを得ぬ

農界資料

●アラルタ栽培（二）

さて栽培法は土地の耕作、播種或は植付、手入及び收穫と云ふ順序に進む、先づ土地の耕作準備は、エンシヤダ或はエンシヤダンで穴を掘るので、アラルタの根莖の發育を容易ならしむる爲、土の軟かな所なら深さ約三十センチ位にする必要がある。若し犂耕耘の出來る所なら、二度アラードをかける、最初はほんの表面を犂いて二度目は植付時に二十五乃至三十センチの深さに犂く。又もし土地が瘠せてゐる所だつたら、植付の少し以前に施肥をするのがいゝ、家畜の堆肥は割がいゝが、化學肥料を並用する必要がある。澱粉を蓄積する根莖植物には、ポッタシオが一番いゝ、故に含有燐及び窒素の肥料を多量に與へる必要がある。

アラルタの生長中暫々雜草を除去し土寄せをしてやる、その爲には犂をかけなかつた土地ではエンシヤダで犂耕耘の地なら器械で行ふ。除草を度々してやる程生長がよく、尙それに依り雜害草を除く外に、土の上下を轉動するので濕氣保全にもいゝ、之は農業上に『除草は半ば灌漑だ』と云はれてゐる通りである、そして尙ほその上に除草は土穰に風通しをよくし從つて空中に含む鑛質要素を根が同化作用するのを容易ならしめる。

成熟期が經過して、葉が枯れ初めたら收穫を行ふ、收穫は叉や、熊手、或はエンシヤダンで行ふか、又はよく耕耘された土地だつたら、芋掘犂を馬に曳かせて行ふ。犂耳の犂でやつてもいゝ。

畑に殘る小根莖や、枝葉等は肥料になる爲、犂で地中に埋めて仕舞ふのが普通である。アラルタには樣々な種類があるので、生產率や品質ばかりでなく、植付地方の氣候や、地質に最も適したものを擇ぶ必要がある

犂をかけた畑に動物堆肥を施したら土ならしをする前に燐性及びポッタシオ性の肥料を撒布する、ソヂウム硝酸鹽は溶解し易いので、アラルタが芽を出し初めてから、上がけをしてやるがいゝ、かうすると土中侵潤して大部分を失ふ事がなく、殆ど全部が利用される。

施肥は根莖の生產率、及びその含澱粉量に非常な影響があるので、農家は之をゆるがせにしてはならない、印度支那に於ては學理的施肥法によつて、一ヘクタールのアラルタ根莖生產一萬一千九百七十キロから、二萬キロの動物堆肥施肥の後に、二萬七千三百六十キロを得た、澱粉の生產率も一ヘクタールに付て、九百乃至一千五百キロである。

●八ケ月間の伯國

植物性品輸出

本年一月乃至八月間、植物級に屬する伯國生產品の輸出量は、百二萬二千五百三十一噸で、之を一九一三年の同期間の輸出量、六十一萬九千七百九十三噸に比すれば、約倍増だと云ひ得られる、而してその價額も伯貨紙幣に於ては、本年の百二十一萬一千四十八コントスに對し、戰前は五十萬一千九百十六コントスと云ふ大差異があるが、英貨に換算する時は、依然たる爲替不況の爲、本年の三千七百九十二萬二千磅に對し、一九一三年の三千三百四十六萬五千磅と云ふ、僅少の差を示すのみである護謨の輸出量は、戰前に比し稍下位にある、煙草及びマテは停滯狀態にありと云ひ得られる、其の他の主要植物性品は、夫々非常な增加を來した。

即ち一月乃至九月間に於て、主要品兩年度に於ける輸出量を對比して示せば

品名	一九二二年	一九一三年
綿花	二四、六五一噸	二一、五六四噸
米	二八、九七四	四九
砂糖	一三九、八〇九	五、一五〇
カヽオ	二一、七五八	一五、六七五
椰子蠟	三、五一七	二、九九六
マンヂオカ粉	九、四六二	三、〇一一
豆	五六	―
食用果實	二八、二八八	一七、三四〇
搾油用果實	六七、五四一	四三、五二七
木材	八七、七七〇	九、五二三
玉蜀黍	五、〇五九	―
其他種々植物性品	五〇、二五四	三九、九三三
珈琲	七、八一二千袋	六、〇八四千袋

廣告

私儀今般ビリグヒ町中央に於て理髮店及び旅館業相營み候間大方諸賢の御引立を蒙り度く此段奉冀候
尙ほ理髮機械及物一切の研磨の御注文に相應じ申すべく候

福岡旅館理髮店主　浦六平

御菓子

まんぢう、やうかん
せんべい、その他
相變らず御引立を願ひます

村上銀市
Rua C. Sarzedas 71

旅館

和洋御料理一切
ボニータ街二一番
上地彌藏
郵函　一二二五
電話セントラール　五七〇一

社告

左記の處に支部若しくは取次所が置いてありますから購讀申込、料金拂込、及其他に關しては最寄左記の所へ便宜御手數を願ひます

（順序不同）

コンキスタ	福川薩然
プロミツソン	鈴木季造
ビリグイ	宮崎八郎
ア、リンス	森部一衛
リベロン	坂元靖
ペンナ	古庄常喜
サントス	古謝將義
セ、セーザル	岡島仁耶
プレジヨン	長尾喜樹
イグアペ	菅山鶯造

伯刺西爾時報社

優良なる農具及工具用双物一切の御注文は本工場に願上候

H印　鐵工場

平田初太郎
Caixa Postal, P. P. SANTOS
エスタソン、ジユキーア際

◆百年祭記念寫眞帖◆

◎表紙は斬新な圖案を色彩艶麗な石版刷
◎內容は前々廣告通り廿四頁各頁邦文、活字說明入り
◎定價僅金二釬五百（書留三百四十レース）六部以上は當方の負擔
◎御送金はコンバロール若くはバーレポスタールに願ひます
◎寸法約七寸五、五寸五、母國の知己に年頭用として好箇の記念品

拙館が此度空前の廉價を以て寫眞帖を發賣致しましたのは光榮ある百年祭を皆樣と永久に記念致し日頃の御愛顧に報ひ度き微意に外なりません、日々注文殺到部數に限あれば後れて悔ひ給ふ勿れ

宛名
石井寫眞館
IPPO ISHII
Rua C. Chrispiniano No. 16 S. Paulo

◆御正月用品各種到着◆

◆食料品（日本酒最上菊正宗、數の子、淺草苔、湯葉、椎茸、干瓢、寒天、湯干蓮根、板昆布、切昆布、若布、味付苔、鰹節、梅干、梅漬、神田醬油、削節、干鰯、小豆、餅米、食用紅、コンニヤク粉
◆鑵詰　福神漬、筍、鰻、蛤、鮎、はせ、いか、赤貝、茄子芥子漬
◆化粧品　賣藥、金物、種子、書籍、噴霧器、ベルデパリス
◆上等セボーラ種子　發芽請合、黃、赤、白、三種
◉其他小供用輪楢、小學校教科書一年ヨリ六年迄
サンパウロ・ルア・コンデ・デ・サルゼーダス四十九番

直輸入商　瀬木商店
Y. SEGUI　Caixa, 1771=Tel. Cent. 3836=S. Paulo

極上等
セボーラ種子
新鮮にして發芽請合
カナリヤ種黃、紫、白

發賣所
LOJA FLORA
Praça Antonio Prado, 7 e 9
S. PAULO
瀬木商店
Caixa Postal, 1771
S. PAULO

◆迅速、叮嚀、勉强

Garage Normal
Tel. Cidade, 56
Praça da Republica No. 43

貸自動車業

御用命の際は
電話シダーデ　五六番　七七番　七八番　四五一番
御呼び下さい

◆御引立を乞ふ

或る女の手紙（一）

丘の人

私がこんなつまらないものを發表しやうとするのは遇然の機會でこの「或る女の手紙」を見たので、此れは事實である、私は未だ他に「或る女の手紙」が當伯國には澤山ある筈だと思ふ。

一騷動持ち上がりさうだつた雲行きも主人公の謝罪？によつて爆發と迄で行かなかつた、今日ばかりは平穩におさまれかしと祈つた、無論何時だつて爆發するのを好みはしない。其處に如何なる理由が存在うとも其の結果は必度自分に來るのだから、とR子は思つた……

毎年如何な所以か知らないがE町には收穫期の末頃必度賑かなフエスタが催された、周りを山で圍はれた、日頃は淋しいE町も其の當日は煙火と音樂の音に俄に活氣着いたやうな賑かさで附近の植民地や耕地からは各自思ひ〳〵の服裝を凝して老幼男女が一日の歡樂を求めて集るのだつた、其の人垣の中を教會から眞先きに基督と聖母の像が擔ぎ出され、そして其の後から可愛い天使に扮裝した幼兒が錦旗を捧げて嚴に行く。其等の行列がしづ〳〵と音樂の音調に合して、街を練つて行く。

出かけの騷々しさに比べて三人が行つた後は靜閑として野中の一軒家は別の世界のやうに寂しかつた、喰ひ散らされた食器を漸く片付け終へたR子は初めて眞の己にかえつたやうに思はれて、今日あるE町のフエスタの有樣などを想像てみた。椅子の上に安樂さうに眠つてゐる猫が時々だるさうに瞳を開いて而し猾さうに一聲づゝ鳴く……

* * *

昨年の末頃であつた、當伯國の貴い神の福音を傳道すべく遙々北のアメリカから渡つて來た人があつた、此の國に眞實の父母も兄弟もないR子は、暗い闇の中に一條の光明をあたえられたやうに思つて、其の人の渡伯された記事を新聞紙で見たのであつた。

* * *

彼女は今日留守居役を仰付かつたのだが、其れは寧ろR子の希ふ處だつたのだ、彼女が殘るは他の三人は當然視してゐるのだけれど、義理にも今日ばかりは同行を誘つて吳れなかつた事は彼女が獨り殘つて日頃の望みを達し得べく神が與へた最良の機會だと思つた……

故國の兩親に送るより外に筆を持つた事、否持つ事を許容されないR子は、先づ如何う書き始めて良いかに惑つた、づゝと以前からあれから書かふこれから書かふと想つてゐた事もさて愈々筆を取つてみると精神が亂れて胸の鼓動のみ高く烈しく鳴るのだつた……。

■小—供—の—世—界■

狼と聖僧（五）

ほかけぶね

暫く默つてゐた狼は、さも心苦し相にしてゐましたが、やがて思ひ切つて答へました。

『聖僧樣、どうぞ私の傍へ寄らないで下さいまし、可なり久しい間、お寺で安樂な日を送りました、そして村中を恐れも、憎しみもなく歩き廻りました。皆の衆が下さる御馳走に滿足し、別にねだりもしませんでした、然し人間の仲間に入つて、暮らしてゐればゐる程、人間と云ふものがよく解つて來るのでした、人間同志が、猜み合つたり、怒つたり、惡いたくみをしたり……、顏には氣嫌よく笑つてゐても、お腹の中では恐ろしい刄を磨いでゐたり、嘘のつきかたを考へてゐます、兄弟同志でいがみ合つてゐます、人間に戰爭の絶え間はありません、弱い者はいつまで過つても、頭の上る時はありません、意地の惡い、嘘つき、力の強い、お腹の黑い者程が、偉い人になつてゐるんです、夫婦だつてまるで敵同志の有樣です、人間は矢張私等の友達ぢやありませんでした。

して見ると、聖僧樣の教訓を守つてゐるのは、私だけだらうか、と思つたとき不意に私の血は煮え返りました、そして昔の狼にかへつたのです、私は矢張り狼だつたのです、そして之からも狼で暮しませう、私は狼に生れ、人間に生れなかつた事を喜んでゐます。そして私は此所へ歸つて來たのです。男らしく名乘り合つて戰ひませう、人間のやうに卑怯な、隱險な戰は致しません。私は熊や虎のやうに活きませう、生きる爲には殺し合ふんです。あゝもしフランシスコ聖僧樣、どうぞ私をこの儘この山に置いて下さい、危險もありますが自由があります……。』

聖僧は何と答へてい〻か、答ふる言葉を知りませんした。云ひ知れぬ悲しさに、たゞ兩手を高く天にさゝげて、そのまゝ力なくうなだれて重い足を村へ引き返へしました（終—ルーペン・タリオ原作）

小說

奴隷の娘（四〇）

ベルナルド、ギマラエス作

杉山帆影譯

新しい自分の坐る場所を示されて別に嫌らしい樣子も、悲しさうな風も見せず、イサウラは糸紡車のそばへ坐つて、仕事を始める用意をし出した、今迄は小間使として、手荒な仕事なぞした事はなく、そして又家事なら一切心得てゐるばかりでなく料理でも、洗濯物のりつけでも、洗濯でも、糸紡ぐ事も、はた織ることも、誰だつてかなう者はない程だつた、だから彼女は至極滿足した樣子で、落ち着いて奴隷女の間に席を占めた、只その唇に浮ぶ微笑に、ある淋しみが讀まれるが、それは心にせまる樣々な惱みのひらめきで、今の今迄奧樣付で、家の中の仕事からかうしたさがない地位へ、引き下ろされたと云ふやうな、そんな悲しさではなかつたのだ。

自分の素性をよく知つてゐるイサウラは、いつも他の女奴隷のやうに身を卑下してゐた、稀なその容貌の美しさや、充分に受けた教育やにも拘らず、心に誇がましさは煙程もなく、有り易い虛榮の、心に宿る由もなかつた、それでも氏と育ちは爭へず仲間の女奴隷等と並べては、言葉端から身たしなみまで、どこか群を拔いて見へるのだ、もしその部屋へ入つた者は、誰だつて彼女が普通の女奴隷で、糸紡ぎに餘念ないと見る者はなからう、それ所か、若い女主人が、物好き半分ひまつぶしに、奴隷の仲間へ入つて、糸を紡いでゐるとしか思へまい、恰度一羽の鶴が、鷄群の中へ下り立つて、氣高い白い長い頸に、一段と氣品が見ゆるやうだ。イサウラは平常、皆から好かれてゐたので、誰も彼も氣の毒相に彼女を眺めた、たゞ猜みやら、嫉妬に心を燃す、ロオザばかりは小氣味よさ相に見返してゐた。此のロオザの猜や嫉妬は、はしたない娘としての單純なものではなく、實は深い理由があるのだ。それは彼女は久しい間若主人レオンシオの妾同樣になつてゐた、而もその當初に別に脅しも、だますことも要らずに、野心を持つて甘んじて意に從つたものだが、其の後レオンシオがイサウラの美しさに執心すると共に、いつの間にかロウザは彼の心から忘れられてしまつた、野端の草と顧みられなくなつたロウザの怒は、主人に對して手出しの出來ないまゝに、有つたけの嫉妬と怒を、イサウラに振り向けやうと定めたのだ。

時報歌壇

春　　朝日殖民地　をんな

雨毎に軒の若葉は緑して春は來にけり鳥も來て鳴く

珈琲の花を慕ふて來た蝶の鍬の柄先に翼を休めぬ

窓越しに眺むる森の緑濃し白煙吐いて汽車走る見ゆ

春の夜にフとビオロンを抱て見る彈くにはあまり年老けにけり

餘生短篇　　里美春

アメリカの活動俳優の名を知りて手紙など書く夜のうれしさ

アメリカの女優で好きなマクラレン・メリ見たさに街に行くなり

■話の種■

▲一六六六年に倫敦に大火災があつた時六百ケ町を燒き拂ひ寺院の罹災した數八十九燒失家屋一千三百二戸に上つた

▲埃及の古代の法律は外國人の入國を禁止してゐた

▲歐洲の端から端を計つて一番長距離なのはサン・ビセンテ岬からカラ灣へかけて引いた一直線

◆最新式米國型洋服◆
◆叮嚀迅速廉價調製◆
矢部洋服店
Alfaiataria Yabe
Rua José Bonifacio, 11 A
Sob. Sala 3, Tel. 3434 Cent.
São Paulo

長壽を望む人は本藥を座右に缺く可からず、ブラジルに一番多い消化器病に本藥を忘るな！
O CHYMOGENIO
胃腸病其他一切の消化器病無二の特効根切藥
▲各地信用ある藥店に販賣▼

廣島縣人
尋人　平田ツ子
右者現住所御存知の方は左記へ御一報願上候
海外興業株式會社伯國支店
リベロンプレート出張所
Caixa Postal, 290
Ribeirão Preto

福岡縣人
尋人　樋口宇一
森村令太
右者の現住所御存知の方は甚だ御迷惑なれど小生宛御一報願上候
田中万五郎
Campo de S. Christovão, 90
Rio de Janeiro

聖市コンデ街五十三
電話セントラル五八一九
廣島屋旅館
Rua Conde de Sarzedas, 53
Telephone Central, 5819

中山旅館
コンデ、デ、サルゼーダス街九〇番
電話　セントラール　四五五九番
中山忠太郎

伯剌西爾時報取次所
旅館 **成功館**
サントス港　古謝將義
Largo 7 de Setembro, 15
Tel. Central, 2008, Santos

旅館
東京館
エスタソン
ソロカバナ前通り
電話シダーデ一四七六
Rua Mauá, 199
S. Paulo

御旅館
サントス市プラサ、デ、ジョゼイボニフアシオ五一
平安名山戸
Praça José Bonifacio, 51
SANTOS

パテンテ●カツシーリヨ●ボールタを製造開始致候間御用命被下度候
カーザ東京
家具商　**杉本芳之助**
Rua B. de Itapetininga, 20 S. Paulo

綿の種子なら
PEREIRA IGNACIO & CIA.
本商會發賣の綿種子は政府農務部の試驗濟消毒保證付です
御注文は多少に拘らず次へ
Rua de São Bento No, 47
Caixa Postal, 931
São Paulo

民刑商訴訟手續其他一切の法律事項懇切取扱
辯護士　ジルベルト　デ　アンドラーダイ　シルバ
事務所　R. S. Bento, 12 B
1°andar Sala 10

徵集延期に關する告示

第一　大正拾貳年度の徵集延期出願を要する人は明治三十五年拾貳月貳日より同三十六年拾貳月壹日迄の間に生れたる人並に徵集延期中の人とす

第二　大正拾貳年度徵集延期願に添付すべき在留證明願の日付は大正拾壹年拾貳月壹日以後の日付を記入すること

第三　右在留證明願は便宜本年十一月三日より受付く

第四　本邦への郵便は便船の都合により甚だしく遲着すること往々あるに付在留證明願は成るべく速かに差出すこと

第五　右證明方を願出づる人は手數料五「ミルレース」本邦への書留郵便料八百「レース」（本人所在地へ回送方希望の人は右手數料の外貳百「レース」、且又返信希望者は貳百「レース」の郵券封入の事若し封入せざるものは返信せざるものとす）を價格表記郵便（コンバロール）郵便爲替若くは銀行爲替にて送付すること、鐵道爲替は現金受取の際留置料として着驛より現金受取の日まで一日に付貳百「レース」の割合にて送金額中より之を差引かるゝに依り右送金者は相當の留置料を加算し置くこと

第六　手數料は成るべく願書と同封にて發送すべく、手數料丈を別に發送する場合は送金人の氏名、本籍、現住所を詳記したる書類を封入することを必要とす

第七　本年十二月始めて證明願を差出す人に限り左記の通り日本出發伯國上陸年月日を氏名の上部に記入すること

（日本出發大正　年　月　日　伯國上陸大正　年　月　日）　明治　年　月　日生　氏名

第八　本人より本籍地へ在留證明書を發送する場合は書留郵便を以てし其受取書を保存し置くこと

第九　證明願は必ず貳通差出すこと

以上

大正拾壹年拾月

在サンパウロ
帝國總領事館
São Paulo
Caixa Postal, 1167

在リベロンプレト
帝國總領事館分館
Ribeirão Preto
Caixa Postal, 144

日本近信

●十年間秘密に附せられた乃木將軍の軍縮意見

◇奉仕建言に民本主義を說く◇

尊い血で弛んだ世道人心に一脈の緊張味を興へた乃木將軍が先帝に殉してから去九月十三日が丁度十年目に當る、此日赤坂新町の乃木神社では壯嚴な祭典が執行されたが之を機會に十年間も秘密にされて居た將軍の軍縮意見が發表せられる事となつた

▲乃木大將が殉死された當時山縣元帥、寺内大將、長谷川元帥、渡邊千秋子、小笠原長生子、田中義一大將等に宛てゝ數通の遺書を認められたものであるが一二通の外は當局官憲の干渉で絕對秘密に附せられたが其中には軍備の縮小を痛論したのがあつた、殊に當時陸軍省軍務局長に宛てた長文の遺書には軍機に關する

▲詳細なる意見を述べて『國勢は軍隊にのみ賴つて、存立上の安心を得られるものではない、軍隊に賴る事は決して國家の發展を促すものではなくして却つて阻害するのみか遂には存立をさへ危くするものである、軍隊の擴張は經費の膨張によつて國民に苦痛を與へ外には軍國的の誤解を招いて却つて危險が多い、日本の現狀は此弊を改めなければならぬ時機にある、軍備縮小による內容充實は青年團少年團等の國民的團結を益々訓練し平和的に備ておけば良い』と力說してある

▲山縣公へ宛てたものは其筋でさへ既に燒捨てたなどゝ噂したもので殉死の四日前椿山莊に訪ひ淨書した一書を差出し內容意見に同感なれば今上陛下へ差上げて貰ひたいと云ひ殘したものだ、捧呈書は三千餘字に渉る謹嚴な漢文で『獻上文』と題書されてあつた內容は大略『人君として人の上に立たせられたる天皇は側近奉仕の者の建言を用させ給ふことは必ずしもお誤りであるとは申上げられない、併しお側には餘り正しくない人も見受られるので總てを御採用あらせらるゝことは如何と氣づかひ申上げる次第である、天が命ずるに人を以て言はしめる、人を以て言はしめることは即ち輿論であつて大勢の輿論には誤りがないものと考へられる、人君は宜敷く民意の趣く所と世界の狀勢とを大觀あらせられて御處斷あらせられ一二側近者の建言には餘り重きを置かせられないやう畏れ多くも臣希典は社會の聲は神の敎へであると考へ奉る』と云ふ意味のものである

▲大將が示された歌は『神あかりあかりましぬる大君のみあとはるかにおろかみまつる』と云ふ一首であつた陛下には此の獻上文を特に故三島毅博士を宮中にお召になつて進講を開かせられたと云ふ、洩れ聞く處に依ると陛下には畏れ多くも該獻上文を殊の外御意に召させられ不斷に御手近の手文庫に入れられて幾度か親しく御覽になつたさうである。

東京電報、北米通信（十月十一日）

◆勸銀總裁の辭職

勸業銀行總裁志村源太郎氏辭職し前正金銀行頭取梶原仲治氏後任となる

◆樞密院批準奏請

國際勞働條約は樞密院會議にて可決せられ淸浦議長より批准を奏請した

◆山東賠償金問頭

山東還附賠償金に日本は一億圓を要求し支那は之を六千萬圓に値切らんとして居る

◆虎疫死亡廿八人

東京市の虎疫患者は日々增加して眞症百十一名となり其中二十八名は死亡した爲宮中に於ける一切の御饗宴は虎疫終熄迄中止さるべく、橫濱檢疫所では渡米乘客に對して嚴重なる消毒を施して居る

◆阿部浩氏逝去す

前東京府知事阿部浩氏逝去した

◆九月末現在正貨

卅日現在正貨總額十八億四千一百萬圓。十五日より百萬圓減少

●大阪市内の小學校に

鮮人兒童九十名

大阪市內に在住する鮮人は一萬二千人で昨年の今頃に較べて約倍數に達し益々增加の傾向がある大阪府特高課で、彼等の子弟の敎育狀況を調査したところ現在市內百二十の小學校中三十一校に男女八十七名の鮮人就學兒童のあることが判明した、そして來年度に入れば尙多數の就學兒童を出すべく豫期されて居る尙右は市內丈けの調査で引續き接續町村およぴ府下の實況を調査中であるが合計二百名位に達する見込みである

●臺北また地震

九月十五日午前三時半臺北に强震があつた同月二日の地震に比ぶれば震動時間は長いが稍緩慢で震源地は周防の東海底北緯二十四度三東緯百十二度十五と推測される、餘震は同日正午迄に六十四を算へた眞夜中のことゝて

▲市民は狼狽し戶外に出づるもの多く大稻埕、林家の廟は大音響と共に倒潰し損害一萬圓と稱せられ人畜の被害は少いが今迄（十五日午前十一時）に判明した各地の被害は家屋の倒潰臺北三、淡水二、基隆十三、宜蘭八で基隆郡では本島人二名負傷し水道破壞し斷水した尙取調中

●尻尾のある人間搜し

尻尾のある人間が印度支那及び阿弗利加に居ると云ふ說が人類學者間に達したのでロスアンゼルスのエドワード・ソールズベリー氏は愈々右地方へ實地探檢に出掛ける計畫を樹てた同氏は今回の探檢で必ず二寸乃至四寸位の脊骨の延びた人間を發見することが出來ると信じてゐる

●漂着したブリキ鑵に

『助けて呉れ』の手紙

九月十日午後五時頃銚子海岸君が濱の渚に漂着した小さい密閉した四角のブリキ鑵があつた子供が拾つて開いて見ると、鑵の中に紙片があつてそれには鉛筆の走り書で『助けて下さい、私は東京麴町區土手三番町森田勇十五歲ですが、ジャックに誘拐されて支那の上海へ連れて行かれるので、今汽船で航行中です』とあつた

●市川博士の殉職

大阪市立傳染病院たる桃山病院長醫學博士市川愛吉氏は多年同病院にあり市民の傳染病治療に多大の貢獻をしたが八月二十六日病院にてチブス菌を檢鏡中感染し爾來天王子勝山通りの自邸に靜養中であつたが三十一日傳染病と決定し同時に同病院に入院加療中九月十六日夜來病勢急變し十七日正午遂に死去した享年四十四

●大北動物園の

大蛇が猩々丸呑み

前紙の本欄に於て淺草花屋敷の大蛇が孔雀を呑んだ近信を傳へて置いたが此處にまた去八月三十日朝臺北丸山動物園で飼育中の長さ五間半胴の廻り三尺の錦蛇が掃除穴から逃げ出し隣の檻に侵入した、檻には猩々と手長猿を入れてあるが、蛇は平生から仲の惡い猩々に立向つて丈四尺八寸體量八貫五百目の猩々を何の苦もなく呑み込み尙も猛り狂つて居るのを番人が漸く取押へた猩々は南洋產で七歲園內の愛嬌者であつたのに……

●坑夫六十名を乘せた炭車

數千尺の坑內へ墜落

九月十一日午前六時頃福島縣石城郡湯本村入山炭礦第五坑において炭車に坑夫六十名を乘せて入坑すべく斜坑を降下中突然索條切斷しアワヤと云ふ間もあらず炭車は數千尺の坑內に墜落し死者十四名重輕傷者二十七名を出した大慘事がある同會社及び平署で救助に努めてゐるが何しろ救助も捗々しからず目も當てられぬ慘狀である急報により縣警察部から梶原警部が出張した

●東西勞働組合の聯盟成立す

◇我勞動界の一紀元◇

東西に於ける代表的な勞働組合の聯盟は遂に實現される事となつた、地方別にすれば大阪、京都、神戶全部を含み尙名古屋の組合をも參加し總計約五十組合の

▲結合である斯くていよいよその創立大會は九月三十日に大阪に於て開會し規約及新運動に關して決定する事となつた此の組合聯合の本質は矢强り十日の委員會で決められた大會參加團體の資格申合せに依り覗ふ事が出來よう即ち『五十名以上の組合員を有する勞働條件の

▲改善並に社會改造を目的とする勞働者の職業的又は產業的鬪爭的團體たる事』である尤も右申合せに膺つて總同盟側は意味深長なる鬪爭の二字を入れて協調主義乃至人道主義的團體と明瞭に異る所以を高調せんとし信友會の水沼君は階級鬪爭と明示するか然らずば鬪爭の二字を

▲抹殺すべしと主張したが結局意味深長の二字だけを挿むことに決した、次に代議員の選出は之も總同盟側の案で五十名より二百名迄の組合から一名、二百名より五百名迄二名五百名より千名迄は三名、以上は千を增す每に一名と決り、尙創立大會の座長も關西側が從來の

▲感情一切を捨てゝ握手し、第一候補西尾（總同盟）第二候補八木（向上）と決した、斯くていよいよ規約草案起草に掛つたが從來水と油の樣な各組合が委員會席上に力めて互讓的態度を持して居るに見ても結合は最早完成したと見るべきで正に勞働界の一新紀元である

カマラーダ募集

馬鈴薯栽培のカマラダ三四名至急入用に就き希望者は左記へ來談又は問合せありたし

水城源吾
G. Mizuki
Villa Juquery
Est. Juquery

CASA MERCURIO
Rua General Carneiro, 11
Caixa do Correio, 486 — S. Paulo

大工、木工、石工、左官用諸器具類農業用器具器械、殺蟻器、柵用鐵條、殺虫用劑等種々特價大勉强

賄人一名入用

當館に於て賄人一名入用に付希望者は男女に拘ず大至急申込れたし給料は面談の上

石井寫眞館
Rua Cons. Chrispiniano, 16
S. Paulo

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lapavés No. 236

獨逸製並米國製アラード及附屬品、犂、製粉機、穀皮離脫機、其他一切の農具並石油發動機、牛馬牽引發動機等安價にて堅牢なる品多量到着致候間御用命伏して希上候

尙詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候

BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756, S. PAULO

聖市キタンダ街十番
ブロンベルグ會社

純良醬油
フジヤマ

ニガ味のあるキヽの薄い醬油にお困りの御家庭は
一度お試し下さい
わたくしが自慢で造つた眞の味とキヽ目の二倍ある

ノロエステ線ペンナ驛
釀造元
藤澤豊次郎

YAMA-K. SHOKAI
Ship-chandlers
Telephone Central, 1973
Rua Martim Affonso, 41
SANTOS

大阪商船會社
日本郵船會社 御用達
各艦船食糧賣込業
並に農產物仲買業、生、干、鹽魚卸販賣
カマヤ
K合資商會
小淵
岸本 合同經營
南米サントス市
マルチンアフォンソ街四一番
電話セントラール一九七三番

●四年のお役目御苦勞と 聯邦新舊政府の入れ替り

◇現大統領は歐洲漫遊

獨立百年の大典も無事に濟ませ、博覽會も賑かに蓋を開けて、思ひ置く事もないほどの現大統領エピタシオ・ペッソア氏の任期も、こゝ五日を餘すばかり、戰後の六づかしい經濟界の舞臺を、先づ順當に切り拔けた

▲四年のお役目を、共和黨宣言記念祝日の十五日に、愈々新大統領アルツール・ベルナルド氏に引き渡す事となつた、さて替り合ひましてカテツテ宮の主人と納まるアルツール氏の、既に閣員顔振を確定發表した所によると左の通り

內務及司法	ジョアン、ルイス、アルベス
外務	フエリス、パシエコ
大藏	サンパイオ、ビタル
交通	フランシスコ、サア
農務	ミゲル、カルモン
陸軍	セテンブリノ、デ、カルバリヨ陸軍中將
海軍	アレシャンドリノ、デ、アレンカル海軍大將

▲となつて現政府が陸海軍大臣を文官としてゐるのに對し、鳥渡趣を變へたのは、專門家を配置した事である、大藏、交通兩省を夫々各二省にする議も、流れて仕舞つて先づ當分は現狀を維持する模樣。此處で閣員の人別を鳥渡覗くと、內相がミナス產で兩州の前大藏長官、藏相は聖州出身で之も出身地の前大藏長官、交通相もミナス產、ニロ政府の交通相でお馴染の椅子、セアラ州選出聯邦上院に席を有する

▲外相に擬せられたカルモン氏は農相に納まつたがバイアの出、アフォンソ・ペンナ政府に交通相を務め、バイアの農務長官、氏の後にはルイ元老がついてゐる、外相はピアウイの出身で、同州選出聯邦上院議員でジョルナル・ド・コンメルシオ紙主筆である、陸海兩相は共に南大河州の產である、年齡を見ると先づ一番の年長者は

▲海相アレシャンドリノ提督で七十四歲、次が遞相の六十歲、一番若かいのが農相及び外相の四十四歲、平均して五十五歲となる。さて現大統領エピタシオ・ペッソア氏は、聯邦の大世帶を引渡してから四年間の氣詰りを晴らす爲に、家族を同伴して歐洲へ漫遊する事になり、既に伊國船ジユリオ・シザレ號に、船室を約束した

●外相名殘の宴

外相ア・ゼベエド・マルケス氏及び同夫人は玆數日にしてその任期が盡きるので昨九日イタマラチイ殿に各國の外交官を招待してお名殘の宴を開いた

●休戰記念日

明十一日は歐洲大戰休戰記念日なので聖市在留英米兩國民はホテルルテルミヌスで晩餐及大舞踊會を開催する

●共和宣言記念日と 閱兵式擧行

來る十五日の共和宣言記念日には聖市モッカ競馬場ではキリノ大佐が指揮官で州兵の閱兵式が行はれ佛國教官團長チレル將軍の閱兵がある參加隊は步兵三個大隊騎兵一個聯隊消防隊及び機關銃隊とである

●サンタカタリナ州へ 養蠶試驗場設置案

代議士エリセオ・ギレルメ氏は八日聯邦下院へサンタカタリナ州ノバ・タラントへ養蠶試驗場を設置し養蠶獎勵の爲賞金の制度を設くる建議案を提出した

●リオ、ニユオレアンス間 新海底電線開通

去る五日からリオ及びサントスと米國ニユウオルレアンス間のオールアメリカン・ケーブルス社の新直通海底電信線が開通したニユウオルレアンスは南米諸生產品殊に伯國產珈琲の仲繼集散港として日々發達しつゝあるので此の直通線は兩國貿易上至大の利便となるであらう又伯國外相は同地駐在伯國領事から同線經由祝電を受取つたが之は同線最初の電報である

●百八十歲の老婆 博覽會見物

去る三日リオの大博覽會へ見物のついでにモンロウ宮の新聞記者局へ立ち寄つた黑人の老婆があつたクレメンチイナ・マリア・サンタアンナと呼びリオ州サンタアンナに生れ本年取つて百八十歲だとそして嘗てサンジョアン・マルコス侯爵ペドロ・デイアス・パエス・レエメ氏の下女をしてゐた者だと

●電話會社買收契約

サンパウロ電話會社のリオ電話會社買收契約八日リノ・モレエラ公證人役場で手續濟その買收額は八萬七千コントス

●二組視察團の其後

志賀重昂氏一行の視察團はリベロンプレト方面を振出しに內地重なる所を視察し大なる好感を得て五日に歸聖された志賀重昂氏は一行に先んじて七日ブエノスに向け當地出立、細田多次郎、岡田亮一、石澤雄右衛門の三校長は八日夜歸聖再びホテルテルミヌスに投宿し十四日の便船にてサントス發ブエノスに向ふ豫定だと又橫濱輸出協會の第三回海外視察團として二日晚來聖の馬場信一、植村忠美の兩氏は三日市內見物、四日サントスへ下り、五日ブエノスに向け同港を出發した

●岩城重喜知氏消息

實業團の一員であつた大阪の大日本紡績聯合會代表の岩城重喜知氏は去月二十日棉花會議が終つた日を段落にリオを切上げペルナンブコに向ひレシフエ滯留の甚だ短かゝりしに拘はらず其の地一帶の棉花調査は比較的要領を得たと通信があつたが氏は本月三日同地發ブエノスに向ひ裏南米廻りを中止し十日間程亞國を視察して後再び大西洋を橫切り紐育經由歸國の途に就く豫定だと

●獨逸新伯國植民會社

伯林の新聞の傳ふる所によると同地に新に伯國へ植民の目的で一會社が設立された

●藥劑師試驗に 及第した邦人

鹿兒島人中須矢吉君はかねて市內ポプラル藥店に傭はれ從業の傍餘暇を利用して熱心に藥劑學勉強した甲斐は空しからず去月七日擧行された藥劑師試驗に應じ首尾よく合格し五十餘名の受驗者中及第者は僅か六名の中に數へられ日本人の爲に氣を吐いたが日本人で同試驗に及第したのは同君が最初である

●神奈川丸入港

リオからの通信に據れば日本郵船の『神奈川丸』は來る廿八日日本よりリオへ入港する豫定で夫よりブエノスに行き再びリオへ寄港するさうだが其れから先きの航路は追て判明次第報道する

●木藤磯右衛門氏逝く

聖市邦人界の名物男として人に知られたのみでなく商人として一種獨特の技倆を有し負ず嫌ひで常に奮鬪的生活を維持した木藤商會主木藤磯右衛門氏は病氣には勝ち得ずして去る六日遂に他界した、記者は曾て宮島醫學博士及北島醫師の案內としてコンデ街を廻つた時木藤商會にも立寄つて氏が結婚後胃病に患まされてゐるのを見舞ひて胃病に對する養生法を說いて宮島博士に『醫師を二人も前に置いて素人の衛生論は潛越だ』と笑はれたことがあるが、氏は其の時分から胃病が一つの持病であつた併し總てに負ず嫌ひの氏は病氣にも打勝つて家庭の好爺であつたと同時に商賣の奇才を發揮して是から大に爲すあらんとしたのに、天此の人に年を假さずとも云ふべきか最愛の妻子を遺して此の世を去つたのは悼ましいことであるが、氏の模範を示した奮鬪主義は在留邦人を善き方面に導くだらうから氏も亦之を思ふて安らかに冥目するであらう

● 運動界 ●

▲寄附と總會　ミカド運動俱樂部の主旨を賛し上地彌造氏は金三十ミルレースを同俱樂部へ寄附した、尙同俱樂部では明土曜日午後八時から役員改選其他重要事項協議の爲本部に於て總會を開く

◇女中入用

十七歲頃から二十五歲迄

Rua Fagundes, No, 8
São Paulo

高岡

餅米を多少に拘はらず至急買入れたし

Rua C. de Sarzedas, No. 46

森山彌曾治

ミカド俱樂部部員諸君へ

拜啓來る十一月十一日（第二土曜日）午後八時より本部會場に於て總會を開催し役員改選其他重要事項に付き協議致度候間萬障御繰合せ御出席被下度此段御通知申上候

追而御來否御一報願上候　敬具

ミカド俱樂部幹事

歸國廣告

謹啓各位益々御淸榮奉賀候小生儀都合に依り本月十五日サントス港出帆の「タコマ丸」にて歸國仕り候就ては一々拜趨御別れ申述る筈に候へ共行李匆々其意を得ず乍略儀以紙上御別れ申述べ候　敬白

大正十一年十一月二日

福岡縣浮羽郡竹野村大字竹野

中野藤藏

辱知諸賢

拜啓各位益々御淸勝奉賀候陳ば小生來る廿八日サントス出帆のカナダ丸にて歸國可致候に付ては在伯中蒙れる御厚意を深謝すると共に此の御厚意の萬一に報んが爲め鄕里及附近御出身諸君の御用取次致し度候間御鄕里に御用の御方は來る二十日頃まで聖市小川旅館まで御來談若くは御届け下さらば御届け申上べく候

大正十一年十一月十日

熊本縣八代郡宮原町大字立神

石田長平

辱知諸賢

井手豊儀豫て腸腹膜炎に侵され療養中の處藥石其の効無く本月三日聖市に於て死去仕り候間此段生前の辱知諸君に謹告仕候

大正十一年十一月三日

ブレイヂョン殖民地

福岡縣人

父　井手磯太郎
妻　井手イト
親戚總代　平田甚一
友人　初村子之吉
青木友藏
石橋豐富
東原喜作
朝妻喜代志
小川眞二
青木竹藏
青木佐六
井手善藏
東原茂市
青木藤太
中田種三郎

夫磯右衛門豫て病氣の處療養不相叶十一月六日午後九時死去致候に付此段乍略儀以紙上生前辱知諸賢に謹告仕候

追て翌七日午後四時コンデ街五一番自宅出棺アラサ共同墓地二四六號に埋葬致候

大正十一年十一月八日

妻　木藤　貞
長男　元一
長女　春子
義妹　田上　春枝

御禮廣告

亡夫木藤磯右衛門葬送の際は御多忙の處遠路態々御會葬被下御芳情難有奉深謝候乍略儀不取敢以紙上御禮申上候

大正十一年十一月九日

妻　木藤　貞
長男　元一
長女　春子
義妹　田上　春枝

◇パラナの珈琲園◇

◇四萬乃至五萬の珈琲樹受持農家募集◇

所はパラナ州リベロン・クラアロ郡サント・アントニオ耕地、ソロカバナ鐵道シャバンテス驛から僅か三レグアスで立派な車道が通じてゐます、此の耕地で一九二二—一九二三農年度に四萬乃至五萬本の珈琲樹を受持つ爲の農業家を募集します、契約は農業保護法に依ります、大體の條件は第一、一年一千本の珈琲樹手入賃百五十ミルレース〇第二、百二十リットル入一袋收穫賃一ミル二百レース〇第三、日給賃（食事無し）四ミルレース〇第四、支拂は每月〇第五、一年乃至三年の珈琲樹のルアに乃至三カレエラ玉蜀黍或は豆を蒔き得る一等地を貸與する〇第六、受持珈琲樹數の割合で既に燒拂濟みの米作に適する良地を分配貸與する〇第七、住宅は瓦葺で上等だし豚や乳牛飼養の爲に垣をしたマンゲロンや牧場の設備がある〇第八、水や氣候は申分のない上等、高さは海拔七百五十米突…希望者は左記耕主又は耕地へ問合せて下さい

耕主　J. K. Moreira Lima
Alameda Ribeiro da Silva No. 18 S. Paulo Tel. Cid. 3516

耕地なら　Casa Otto Nogueira e Irmão em Chavantes-Irapé

レヂストロ農業者諸君へ

稀有の大珍事!!!

經濟は繁榮に趣く全くの徑路です。所で經濟と云ふ事はどうすればいゝでせうか？それは **Casa David Aby-Azar** へおいでになつてお買物をなさることすぐお解りになります。

當店は最近五十コントス程の商品をいろ〳〵取揃へて仕込み最大廉價で大賣出しをいたします。お買物は當店で召しませ之が一番の經濟です。

どなたも皆 **Registro** の **Casa David** へ

◆土地賣却廣告◆

一、地主　ドミンゴ・ケリーノス・フエレイラ、ヂヨゼ・アントニオ・カビストラ兩氏の所有にして地劵確實
一、場所　中央線モチ、ダス、クルーゼス驛（サンパウロより汽車一時間）の奧十六基米突、チエテ河の上流、面積二千アルケーレス、海拔約八百米突、地質良好平坦水質善良且つ豐富にして芋作、米作、牧畜、果樹栽培等に好適なる土地十アルケーレス以上幾アルケーレスにても賣却す
一、地代及拂込方法　一アルケルに付三百五十ミル、最初契約と同時に百鈩を支拂ひ殘額二百五十鈩を第三年目及第四年目に分割支拂ふ事
一、交通　驛より車道の外新設自動車道あり、土地の中央を貫通してサレスポリス町へ通ず又チエテ河には舟楫の便あり容易に利用して生產物をモヂ驛に搬出しリオ又はサンパウロ市場へ販賣し得べし

該地賣却の趣旨は同所に借地に依らざる芋作殖民地を創め同時に小生が當國に於て多年實驗上自信を得たる養蠶を試みんがためなり御希望者は左記宛御照會ありたし

T. ONO a/c Pensão Antonio Costa (Mogy das Cruzes) L. Central do Brazil
又は Caixa Postal, 1317 S. Paulo

小野豐造

相談役　渡邊孝

大石內藏之助

九十三

牛井桃水

中傷を試みたりあらゆる手段を用ひても、おすゑは目にも耳にも入れず自分の良人とすべき者は、覺兵衞の外にないと、堅く思ひ詰めて居た。

其の年の暮覺兵衞は、重ねて使ひを備前に送り、決答を求めたが、矢張りおすゑの兩親は、にえ切らぬ挨拶をして、此の時も空しく還した。

翌ればおすゑ十七の春、柳の枝に櫻を咲かせ、梅の香りを付けたとも評すべき天香國色、藩中の若士は己れ眞先に手折つて、手活の花に眺めたいと、人橋かけて緣談の申込み、おすゑは苦々しい事に思ひ、二月末氣に入りの、侍女一人を供に連れ、一夜竊に家を脫けて、海路赤穗に到着し、大石內藏之助の邸を訪うて、逐一身の上を訴へた。

年に似合はぬおすゑの決心、貞操稀なる魂魄に、內藏之助は深く感じおすゑを邸に留め置いて、自身備前に兩親を尋ね、節操の子として生すも、不貞の女として殺すのも、双親の心任せ、御返答を承はりたいと、口數きかぬ詰開きに、左程までの覺悟なら、如何にも角兵衞に娶はしませう、好きにお取計らひ下さるやうと、父母ともに我を折つたので、內藏之助も大いに喜び、早速赤穗に歸つた上、三月の初、自分仲媒となつて覺兵衞おすゑに祝言させた。

憐むべき新郎新婦が、樂しう明かし暮らしたのは、十の指を折り果ぬ間で、花に嵐の障りある世は、雷霆の如き凶報によつて、忽ち鴛鴦の夢を破られた。

一大事出來大寄合を催すに付き、即刻登城との知らせを得、取るものも取敢ず、驅出した良人覺兵衞、おすゑは心も心ならず、立つ居つ待受けたが、夜半過ぎても良人は歸らずとう〳〵案じ明した翌朝、未明に歸つた覺兵衞は顏色も凡ならず、兩刀を投出して、ぴたりと座に着いた儘何にも言はず歎息つく、おすゑは良人の前に摺寄り、

『一大事のお寄合ひとは何事で御座りました』

『お家の大變、殿には高家吉良上野介殿を、恨ませらるゝ事あつて、殿中も憚らず、刄傷に及ばれ、其咎により、切腹仰付られ、城地召離されると申す事ぢや』

『相手吉良上野介殿は、首尾好くお刺止めなされましたか』

『サ、その儀が確と相分らぬので城內も評議とり〳〵、早打のお使として、昨夕到着されたは、早水藤左衞門萱野三平、程なく二度目の注進として、原惣右衞門大石瀨左衞門立歸られたが、何れも江戸を發足れるまでは、吉良上野介殿生死の程も分らなんだと申す事ぢや』

『奧方さまのお歎きは、何のやうに御座りませう、お察し申上げまする』とおすゑはハラ〳〵と淚を溢た。

『主君を失ひ城地を失ひ、浪々の身と相成る覺兵衞、今は恰ど汝に向つて、離別を申渡す時ぢや、親ご親との伉儷、義理人情を立拔いて、御兩親のお心に背き、强て當家へ參つてくれた、汝の厚い志は、それがし死んでも忘れは置かぬ、その美しい情に報いる、唯一つの手段と申すは、永く汝を苦しめず、離別を取らせる外にない、一旦祝言を致したからは汝の義理もそれがしの顏も、共に立つたと申すもの、此の上は御兩親のお心に從ふが何よりの孝行、覺兵衞俄に浪人となり、妻女があつては手足まとひ、甚だ迷惑に存ずる間、離別を出すと申向けたら、御兩親も御滿足、汝も快よく歸るが好い』とかんで含めるやうに言ふ。

＊　＊　＊

おすゑは篤と聞畢り、淚拂うて笑顏を見せ、

『何のお話があるかと思へば、またその事で御座りますか、兩親の家を出る時、生きて再び歸るまいと、神樣や佛樣へ、誓ひを立てゝ置きましたゆゑ、何うも實家へは歸られませぬ、御浪人なされても、必ずお邪魔にならぬやう、心得て居ります程に何處へお越しなされませうと、切望お連れ下さりませ』

『飽までそれがしに連添うて、苦樂を共にせうとの心、嬉しうは思へど覺兵衞が此の先は、火に入るか水に入るか、並大抵の苦勞ではない』

『貴郞が火にお入りなされば、私も火に入ります、貴郞が水にお入りなされば、私もまた水に入ります、死ぬも生るも夫婦もろとも、私の身に取りましては、何な榮華を致すより夫が樂しう御座ります』

如何に諭しても宥めても、おすゑは更に聞入れず、城を枕に上使を引受け、討死といふ頃は、とも〴〵籠城の覺悟を極め、切腹殉死と聞いた時は、その身も自害の決意であつた。

斯て京都へ上つた後、飽まで非運の覺兵衞は、忽ち時疫に取つかれ、一旦は見直したが、再び病勢革まり果は醫師も匕を投げた。

おすゑは寢食を打忘れて、一心不亂に良人の看病、夜中寢息を窺うては、此頃から逗留中の、萱野三平が妻、おふぢに跡を賴んで置いて、淸水の觀世音へ跣詣り、音羽の瀧に水垢離取つて、良人が病氣平癒を祈る心盡しの甲斐もなう、覺兵衞は日にまし衰へ、今は旦夕を計られぬ程賴み少ない姿となつた。

『死ともない〳〵、石に喰付いても生のびたい』と蒼醒めた頰を枕に摺付け、覺兵衞は悶え苦しむ。

『氣を確にお持ちなされませ、明日はいくらかくつろぎませう』とおすゑは頻りにこみ上げて來る、淚押へて慰める。

『汝が心盡しにめでゝも、神や佛の感應がありさうなものではないか、夫に驗の見えぬのは、好く〳〵武運の盡きた覺兵衞、ア、口惜しい〳〵』

『その樣に氣をおいらちなされては御病氣の障りになります、サ、ちつと心を靜めて、どれまた少し擦つて見ませう』

『もう好い、擦るには及ばぬ、萱野氏の御內儀は、まだ歸つて參られぬか』

『大石樣に對面たいと、あのやうに仰しやる故、おふぢ樣は山科へお出なされて下さりました』

『左樣か、それは何より忝ない、呼吸ある中に唯一度、大石殿へお目に掛り、汝が志を申上げたい、此の身は所詮助からぬ、今宵一夜が覺束ないのぢや』

『何の〳〵その樣な事が御座りませう、したがお氣づかひなされますなや、貴郞に若しもの事があれば、私がお身代り、女ながら吉良殿に、きつと恨みを晴します』

『その魂魄を大石殿へ、唯た一言申して置きたい、おふぢ殿はまだ歸られぬか』

『もう程なく見えませう』

『さて〳〵待遠な事ぢやのう、おすゑ、水を』

『直におあげ申します、お胸が苦しう御座りますかへ』

『オ、苦しい、次第に胸が迫る樣ぢや、おふぢ殿はまだか、こりやもう所詮大石殿へもお目に掛る事は叶はぬさうな』

此の時萱野三平が妻のおふぢは呼吸をきらして立歸つた。

婦人欄

●顏の骨相から觀た

女性の運

天城要人

◆容貌と精神との關係

骨相學は西洋で發達した學問でありますがこれまで我國などに行はれてゐた支那で發達した人相學にくらべると、非常に學問的に組織されてゐます。こゝには專ら女性の顏面だけに就て其の人の幸不幸の骨相を申上げます。私が改めて申すまでもなく人間の精神と形體とは、非常に密接な又た微妙な關係があるものですから、たとひ惡い骨相や遺傳を受けた人でも、自己の修養と注意とによつて心で形相を支配することも出來ます。即ち心を優美に持てば形相も圓滿に變する譯ですから、自ら常に省みて自分の缺點短所に注意し修養努力を怠らぬ時は惡運の人も自らの運命を改造して、悲運から幸運に向ふことが出來るのであります。

◆額の豐かな面貌

先づ顏面を大體上中下に分けて見ますと、上部の額が豐かに發達して厚く、眉毛が麗はしく少し上方に着いてる婦人は、知識もあり道德心も熾んで賢婦人と云はるゝ側で、學者、敎育家、宗敎家などに適して居ります。そして智力の發達も早く常識も豐かですから、小さい時から賢い兒だと可愛がられて、初年から中年迄は確かに幸運です。俗に『おでこに馬鹿なし』と云はれて居ますが、これは學理上から云つても根據のあることで、智力が發達して居るからです。

◆男勝りの女の特長

婦人は昔から百年の苦樂を男子に由るとか云はれて居まして、骨相上强硬、獨立、自重等を現はす顏面の中部が男子に比して發達して居らぬものですが、中には例外もあつて顏面の中部が一體に骨張りて骨高く、兩眼が巨大なる婦人を見ることがあります。これ等は所謂男性的婦人と云ふべく、夫に依賴することなく萬事自信を以て斷行し、氣丈夫で野心もあり、夫婦喧嘩などにも負けては居らぬ人です。女の相場を張つたり事業を企てたり又は一家の生活を切り廻はすと云ふ所謂男勝りと云はるゝ人は必ずこの型の婦人です。

◆面部の發達から見た運

顏面の上中部と平均して、下部の程よく發達せる人は友愛、慈愛、夫婦家庭の愛も强く圓滿なる生活を送ること出來て、中年から老年にかけて好運の方に向く人です。然しその下部のみが異常に强く發達して居る人は、その品性頗る劣等で我慾のみを主張し、金錢や酒色に耽る外何等の目的も趣味もない所謂獸性的の人が多いのであります。又顏面の上部のみ、他の中下部を壓する程に發達した人は、學問や技藝の方面に發達して何等かの特長を有する人ですが家庭方面や社會方面には上運と云ふことが出來ず、その活動力もあまり大なるものではありません。

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

郷里送金

一、日本金に引直相場は當分伯貨四ミル三百レースにつき日本金壹圓
二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息　六ケ月以上　年六分
伯貨定期預金利息　六ケ月以上　年四分五厘
　　　　　　　　　壹ケ年以上　年五分
伯貨當座預金（小口）　年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

リオ、デ、ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社汽船着發廣告

●カナダ丸
北米、パナマ經由　横濱、神戸行き
サントス發十一月廿八日
リオ港發十二月一日

●タコマ丸
日本ヨリ
リオ港着十一月十三日
サントス着十一月十五日

尙詳細は左記へ御問合せ被下度候
S. Paulo :— Antunes dos Santos & Co. Rua José Bonifacio, 17
Santos :— Wilson Sons & Co. Ltd. Rua 15 de Novembro 167
Rio de Janeiro :— Av. Rio Branco, 37

K

削節
干魚
發賣元
三共商會
Rua Dr. Cochrane, 118
Teleph. ....
SANTOS

各地食糧店にあり